



深沢紅子野の花美術館開館 30 周年記念特別展

深沢 紅子展

深沢紅子
野の花
美術館

野の花によせて

二〇二六年 三月十四日(土)

八月三十一日(月)

午前九時～午後五時

友人の顔をスケッチするつもりで花の絵を描く

私はよく、少女の絵と野の花の絵を描きますが、考えてみると、花といっても、毎年同じような花の咲く季節を待っていますので、一年に一度親しい友人に会ったときと同じような感激で、花と話しあいながら、みつめ入って描かせてもらいます。同じ花といっても、けっして去年と同じ姿ではありません。はかり知れない微妙な変化が、絶えぬ妙味となって、私の心をとらえます。私は終生、同じモデル、同じ花を描いても、飽きるということとはなさそうです。

深沢紅子

「アトリエ」アトリエ出版社刊 一九八二年発行 深沢紅子文からの抜粋